

四日市港管理組合議会ニューズ

Yokkaichi Port Authority Assembly

第55号（令和元年5月発行）

平成30年12月18日（火）に平成30年第4回定例会が開会され、12月26日（水）に一般質問と議案6件の審議が行われました。

一般質問では、後藤健一議員（三重県議会選出）と谷口周司議員（四日市市議会選出）が下記のとおり管理組合執行部の見解を質しました。

主な質問・答弁要旨

後藤健一議員



谷口周司議員



○ **次期四日市港戦略計画は、2019年度から4年間を計画期間としているが、港湾等を取り巻く情勢が大きく変化し、様々な対策を待たなしに取り組んでいかなければいけない中、注力する取組は何か。**

◎ 次期四日市港戦略計画では、今後も「選ばれる港」となるよう、長期構想や港湾計画で示す将来像を実現するため、政策1「物流を支援する港づくり」、政策2「人流を創出する港づくり」、政策3「地域を守る港づくり」の3つを政策として据えている。

その中で特に注力する取組として、物流面では、道路整備の進展に伴う四日市港へのアクセス向上を活かし、戦略的なポートセールスを実施するとともに、霞ヶ浦地区北埠頭の整備を推進し、同地区南埠頭の混雑解消とコンテナターミナル運営の効率化を図る。人流面では、市街地に近い四日市地区を交流拠点と位置づけ、開港120周年となる2019年の「四日市港まつり」を同地区で開催するほか、日本客船等を積極的に同地区で受入、賑わいの創出に取り組む。安全・安心面では、防災訓練の実施や海岸保全施設の耐震対策を進めるなど、ソフト・ハード両面から取り組んでいく。環境面では、温室効果ガス削減やLNGバンカリングの推進等、環境保全を進める。

これらの取組をはじめ、次期戦略計画の取組を次の4年間で着実に推進し、四日市港の役割を今後もしっかり果たしていく。

○ **親子で遊べる公園として、シドニー港公園をPRしていくうえで、和式トイレの改修は喫緊の課題と思うが、見解を聞きたい。**

◎ シドニー港公園はアスレチック遊具を設置しており、来場者の憩いの場として御利用いただいているが、同公園には洋式トイレが設置されていない。家庭や学校のトイレの洋式化が進んでいる状況もあり、同公園のトイレにおいても、極力早期に洋式に改修したいと考えている。また他の公園においてもトイレが老朽化しているものがあるので、できる限り早急に改修計画を立てて、清潔で明るく、子育て世代が利用しやすいトイレにすることを検討していく。

○ **滝やせせらぎがある霞港公園のように水と触れ合える公園は、市内には少ないので、子育て世代に対して広くPRすることが必要かと思うが、見解を聞きたい。**

◎ 霞港公園には、水と親しむことができる滝や池があり、子どもたちに大変人気があるが、まだまだその認知度は高くなく、フェイスブックやホームページでの情報発信や子育て情報誌等への情報提供を、春・夏を中心に行うなどタイミングを工夫し、納涼公園としての霞港公園の特徴を強くPRしていく。また、「四日市港公園MAP」の配布や、隣接するシドニー港公園や展望展示室との相乗効果により利用者を増やしていきたいと考えている。

※詳細な質問答弁等については、当組合議会ホームページ会議録をご覧ください。